

## 第12回Zoom三水会報告

### ウクライナ危機の源流と将来

2022年6月15日 午後3時半～5時半

発表者 田邊弘幸氏（團野廣一氏のご紹介）

司会 團野廣一

参加者 敬称略



第1列 野口幹夫 田邊弘幸 團野廣一岡本好廣 第2列 小関栄 小寺隆三 石塚秀雄 重原  
祐治 第3列 今尾和美 村澤澄子 中村範子 丸山茂樹 第4列 鈴木岳 本城昇

<講演概要> 添付の講演資料参照

<録画> 前半 田邊氏の紹介と講演：<https://youtu.be/1zFHPkO-h6U>

後半：質疑と討議：<https://youtu.be/ymqSQXb9LZE>

# ウクライナ危機の源流と将来

水霜談話会  
(2022年4月15日)

元ウクライナ駐在 特命全権大使  
天江 喜七郎

## ウクライナの位置

3



面積 約60万km<sup>2</sup>  
日本の1.6倍  
人口 4160万人  
ウクライナ人77.8%  
ロシア人 17.3%

## 「プーチンの戦争」

6

### ◎プーチン氏の目標＝「強いソ連の復活」

- \*ウクライナとベラルーシは大ロシアの一部。
- \*ウクライナのNATO加盟を阻止。
- \*東部の分離・独立⇒「分断」、「中立化」。

### ●背景

- \*ウクライナ親米政権への嫌悪感。
- \*NATOの東漸への強い危機感。
- \*ロシア民族の夢＝「強いロシア」の実現。

## プーチンの誤算

7

- ゼレンスキー大統領の不退転の決意。
- \*ウクライナ軍の士気、装備、そして練度の高さ。
- \*独の方針転換：対露融和⇒ウクライナ軍事支援。

- 初戦での露軍の低い士気と指揮系統の乱れ。
- \*露首脳部の意思疎通に問題。
- \*KGBと露軍上層部の反目？側近の離反？
- \*新露軍総司令官の任命⇒軍主導型が実現。

## プーチン大統領の人物像

8

- ソ連の「申し子」：地政学的思考、大ロシア主義、「カこそ正義」。
- 自信家+野心家：国内テロ収束、経済再建、支持率増加。
- 劣等感：小柄でひ弱な少年時代。
- 努力家：レニングラード大(法)卒、柔道6段、スポーツ万能。
- 猜疑心：KGBの体質⇒偽情報(disinformation)、情報操作(manipulation)。
- トラウマ：ベルリンの壁崩壊(1989)、ソ連崩壊(1991)。
- 反米主義：CIA敵視、米国＝陰謀。

## プーチン語録

9

- 「50年前レニングラードの街角で学んだ一つのルールは、『避けられないケンカなら先に攻撃する』だ。」
- 「柔道に出会わなかったら不良だった私はどうなっていたか分からない。」
- 「ソ連の崩壊は20世紀最大の地政学的悲劇だ。」
- 「欧米の狙いはウクライナの利益を守るのではなくソ連の復興を阻止することだ。」

ベーリング海からバルト海まで

10



## プーチン「ウクライナはロシアが造った！」

12



- 1654年フメリニツキー蜂起、コサック領(黄)とポーランド領(緑)⇒モスクワ公国に献上
- 18世紀後半：エカテリーナ2世、露土戦争で東・南部(ピンク)とクリミア(水色)を獲得
- 1945年：枢軸国領土(深緑)獲得
- 1954年：フルシチョフ首相、クリミアをウクライナに移管

## ウクライナの強い民族意識

15

### ◎キエフ大公国:「ルーシ Rusi」(882-1240)

- \*ウクライナこそがスラブ民族の本家。
- ◎**コサック魂**:ポーランド王国の圧政と戦った自由・独立武装農民の伝統。(大和魂に類似)
- ◎独立したものの、周辺の大国に併合された苦い歴史。  
\*「**ウクライナは未だ死なず**」= 国歌
- ◎1930年代 **ホロドモール(大飢餓)の記憶**⇒反ロシア感情。
- ◎1991年ソ連崩壊により「400年待った独立」達成。

## キエフ大公国(Rusi) (882 - 1240)

16



## NATO「悪玉論」は正しいか?

22

### ●ロシアの言い分

- \*冷戦終結でワルシャワ条約機構は消滅、NATOも解散すべき。「米はNATOの不拡大を明言した。」
- 旧ソ連圏・東欧諸国の立場**
- \*冷戦時、ソ連圏の中で自由と独立、繁栄が阻害された。
- \*東欧にとって「**脅威は東(ロシア)**」から。
- \*経済発展に尽力、国防に割く財政的余裕なし。
- \*安全保障のためにはNATO加盟が近道。

## 危機の源流

23

- ① **大ロシア主義 vs. ウクライナ民族主義**
- ② プーチンのゼレンスキーへの「上からの目線」、過小評価。  
\*初のユダヤ系大統領の出現:米国の影?
- ③ **オレンジ及びマイダン革命(2014)は米の「レジーム・チェンジ」**
- ④ **NATOへの根強い不信感**
- ⑤ **ウクライナ国内の迷走**  
\*長期的不安定、親米欧派と親口派の対立、経済の低迷。  
\*ロシア語の公用語からの排除

## ウクライナ危機の将来は?

24

### ①「破滅型」シナリオ

- \*消耗戦、長期化・泥沼化、化学兵器・戦術核兵器の使用?
- \*ウクライナ領の東西分割、内戦・内乱⇒「破綻国化」。

### ②「妥協型」シナリオ

- \*停戦:ゼレンスキー・プーチン会談での最終合意。東部・クリミア領有?
- \*ウクライナの「中立化と非武装化」、複数国によるウクライナの安全確保?

### ③「信長型」or「秀吉型」の終結?

- \*ロシア軍/KGB内部の政権批判? 「退役軍人会長 イワシヨフ論文」
- ★「**今後のこと**」は戦場で決まる!

## 今後の国際情勢

25

### ◎国際秩序の大変化:「新冷戦」時代へ

- \*対露経済制裁⇒露のみならず国際経済に影響大。
- \*グローバリズムの終焉⇒ブロック化
- \*民主主義(米欧日豪ほか)vs 専制主義(中露ほか)
- \*核拡散:北朝鮮、イラン...⇒NPT体制の崩壊
- \*国連は機能するか? 安保理改革?
- ◎**東アジア情勢:緊張へ**
- \*台湾有事、半島有事の可能性?
- \*中国の行動:最大の不安定要因?

## ウクライナ危機と日本

26

### ★露の軍事侵攻は明白な国際法違反、人道上大きな問題。

- \*厳しい対露経済制裁を実施⇒日本経済への影響大。

### ★日露関係は大幅な後退。

- \*政治・経済関係の根本的見直し。
- \*露、平和条約交渉の中断通告。北海道周辺での軍事活動活発化。

### ★日本の安保体制の見直しと強化。

- \*台湾有事、尖閣防衛。北朝鮮の核ミサイルへの対処。
- \*憲法改正、防衛費の大幅増、非核三原則の見直し?
- \*日米韓同盟の復活、AUKUS(米英豪)への参加?

### ★マルチ外交の強化。

- \*G7議長国(2023):ウクライナ避難民、復興支援を主導。
- \*安保理非常任理事国(2022-24):安保理の改革は可能か?